

一般質問 第9回定例会・本会議 (12/8,9,12)

本会議録画中継をホームページからご覧になることができます!

市議会HP

議会議中継>本会議録画配信 >令和4年第9回定例会



発言項目

◎発言順に掲載。太字は下で紹介している質問を含みます。

- 山田春男 (自民党・市民クラブ・西区)
 - ・広島市の発展に向けた持続可能なまちづくり
 - ・都心の再開発
 - ・地域コミュニティの活性化
 - ・商工センター地区のまちづくり
 - ・高陽地区のスマートインターエッジ
- 三宅正明 (自民党・保守クラブ・安芸区)
 - ・JR西広島駅周辺整備
 - ・アフターコロナ
 - ・中心市街地のまちづくり
 - ・公益施設
 - ・インボイス制度
- 田中勝 (公明党・西区)
 - ・G7広島サミットと平和政策等
 - ・井口台1号砂防堰堤整備等
 - ・気象防災アドバイザーの活用
 - ・新己斐橋の歩道拡幅等の必要性
 - ・新中央市場整備事業
 - ・ごみ拾いの見える化の推進
- 山内正晃 (市民連合・安佐北区)
 - ・産業誘致
 - ・歴史と文化の継承
 - ・図書館機能の充実
 - ・悩みを抱える児童・生徒の支援
 - ・平和行政
 - ・公共交通

持続可能な市政運営



山田春男 自民党・市民クラブ

問 広島市には多くの政策課題が山積しており、この複雑・多岐にわたる課題を解決するために、市政運営の持続可能性を確保することが不可欠である。市長には、引き続き市政の発展に全力を尽くす意思があるのか、決意のほどを伺いたい。

答 「200万人広島都市圏構想」の実現を始め、多くの課題が山積する中、国、県、近隣市町、産業界、経済界、そして何よりも市民とともに、引き続き広島のみならず、まちの発展に全力を注いでいくために、次の市長選に出馬する決意である。

地域コミュニティの活性化



山田春男 自民党・市民クラブ

問 新たな協力体制を構築した、おおむね小学校単位の地域で、安定した組織運営を行うためには、大胆かつ継続的な支援が必要。どのようにするのか。

答 現在、補助金の一本化や補助額の上乗せなど、補助制度の見直しに取り組んでいる。令和5年度以降、地域コミュニティ活性化ビジョンに基づき、新たな協力体制を整えた地域には、抜本的に見直した補助制度を適用し、組織運営を安定したものにしたい。

新時代への支援



三宅正明 自民党・保守クラブ

問 百年に一度の変革期と言われている自動車関連産業は、本市の基幹産業であり、政策貸付の特別融資枠を設けるべきだと考えるが、どうか。また、同産業の方々と協議の上、市として職業訓練のプラットフォームを構築してはどうか。

答 急速に進む自動車の電動化への対応は、地域の中小部品メーカーにとって重大かつ喫緊の課題である。そこで本市は、令和4年度から地域の企業と協議体を構築し、マツダの協力も得ながら支援策などの協議・検討を行っている。政策貸付の特別融資枠の創設、従業員の訓練や育成に係る支援策についても、同協議体での議論を踏まえながら検討していきたい。

「ヒロシマの心」を感じる環境を



山田春男 自民党・市民クラブ

問 G7広島サミットを契機に、迎える平和をさらに推進するため、広島市の玄関口であるJR広島駅と広島電広島駅等の到着・発車メロディとして「ひろしま平和の歌」の採用を提案してはどうか。

答 G7広島サミットを契機とした広島への関心の高まりや、現在進行中の広島駅南口の再整備事業により、今後利用者が増加すると見込まれる広島駅やその周辺において、「ひろしま平和の歌」のメロディを放送することは、その普及啓発に効果があると考えられる。より多くの市民や来訪者にこのメロディを耳にしてもらえる方法については、関係機関と協議を進めたい。

井口台1号砂防堰堤整備



田中勝 公明党

問 近年、豪雨災害が激甚化・頻発化する中で、西区井口台地区で土石流が発生していることから、同地区で唯一未整備である井口台1号砂防堰堤整備の早期完成を目指す必要があると考えますが、進捗状況はどうか。

答 当該箇所の工事は、国が、令和3年度に着手しており、令和7年度末の完成に向け、整備を進めていく予定と聞いている。本市としては、国への主要事業に関する要望や直轄砂防事業促進協議会における要望を通じて、整備促進に努めていきたい。

子どもための産業誘致



山内正晃 市民連合

問 横浜市や福岡市などの都市には、「アンパンマン子どもミュージアム」や「キッズニア」などの、子ども向け屋内型テーマパークが進出している。また、仙台市では、「広域的集客型産業立地促進助成金」制度を活用した水族館なども進出している。本市でもこうした産業誘致のための補助制度などを検討してはどうか。

答 広域集客型産業の誘致は、現在本市が進める地域交通ネットワークの構築等の施策が一定程度進展した段階で、さらなる魅力アップを目指す上で不可欠であり、公的支援の在り方を含め検討していく必要がある。まずは、他都市の状況について、情報収集を行っていききたい。

学校給食は無償化に!



藤井敏子 日本共産党

問 コロナ禍と物価高騰の中、多くの自治体が学校給食無償化に踏み出している。市は子育て世帯の置かれている現状をどう認識し、学校給食の無償化についてどのように考えているか。

答 本市では、子育て世帯、とりわけ低所得の子育て世帯の状況は厳しいと認識している。従来から就学援助制度等により一定所得以下の世帯へは給食費を援助しており、その他の世帯にも、負担が増加しないような措置を講じているところである。今後も、保護者負担を基本としつつ、適宜、必要な支援を行っていききたいと考えており、現時点で、完全無償化の考えはない。

放課後児童クラブ無料継続を!

問 放課後児童クラブの有料化は、施設の整備が遅れている上に、物価高騰で市民生活が大変な中、保護者に新たな負担を強いることになる。少なくとも令和5年春の実施は延期すべきではないか。

答 このたび設定する利用料金により一定所得以下の世帯へは、経済的理由で利用が困難とならないよう、適切な負担軽減措置を講じることで、政令市の中で最も低い水準の料金設定にしている。放課後児童クラブの有料化は、予定どおり令和5年4月から実施していきたい。

用語解説

本文中に赤表記した用語を解説しています

1 スカイレール

JR山陽本線瀬野駅と同駅北側の住宅団地とをつなぐ懸垂式モノレールとロープウェイを組み合わせたような交通システムで、平成10年に開通。標高差約200mの全長約1.3kmを、約6分で結ぶ。同システムを運営するスカイレールサービス株式会社は、令和5年末にその運行を終了すると発表した。

2 ヤングケアラー

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを、日常的に行っている18歳未満の子どものこと。

3 法定外公共物

道路法や河川法などの適用を受けない、里道や水路など国の財産のこと。そのほとんどに土地登記簿がないため、地番も付されていない。現在は、市町への譲与手続きが進み、機能を有するものは市町、機能を有しないものは国が管理している。

4 成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害などの理由で、財産管理(相続手続等)や身上保護(介護・福祉サービスの利用契約等)などの法律行為を1人で行うことが難しい人を法的に保護し、支援する制度。